

証券コード 5017

# 2005年3月期中間決算・ 中期事業計画説明会

2004年11月29日



AOCホールディングス株式会社

# 第一部

## 2005年3月期中間決算及び 通期業績見通し

代表取締役副社長 関屋 文雄



## AOCホールディングス

	上流	下流
連結 子会社 11社	アラビア石油(100%) Arabian Oil Company (Cayman) (100%) AEDC (USA) (100%) Norske AEDC (100%) 新華南石油開発(83.7%) (2004年4月30日～)	富士石油(100%) 富士石油販売(100%) 富士タンカー(100%) 富士臨海(70%) ペトロプログレス(100%) Petro Progress Pte. Ltd.(100%)
持分法 適用 関連会社 3社		Aramo Shipping (Singapore)(50%)
	その他	
	日本オイルエンジニアリング(56.94%) 東京石油興業(49.8%)	

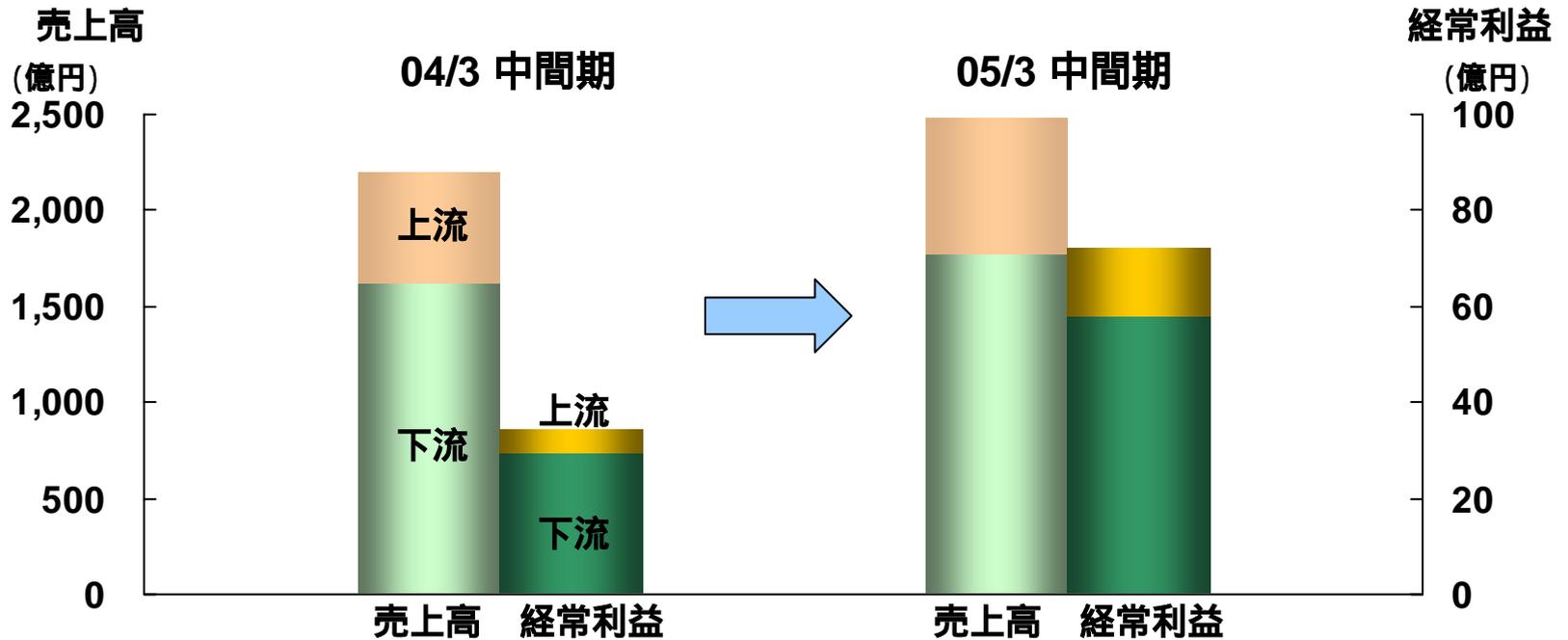
(注) 括弧内数値は株式保有比率

# 05/3期 中間連結決算の概要

(億円)

	05/3中間期 \$34.8/Bbl ¥110/\$			04/3中間期 \$25.5/Bbl ¥118/\$			増減額 \$9.3/Bbl ¥8/\$ 円高		
	上流	下流	計	上流	下流	計	上流	下流	計 (増減率)
売上高	705	1,770	2,475	580	1,615	2,196	125	155	279 (13%)
営業利益	12	57	70	10	32	43	2	25	27 (62%)
経常利益	14	58	73	5	29	35	9	29	38 (108%)
当期利益	22	43	65	1	19	18	23	24	47 (257%)

(注) 内部取引消去は下流部門に含めて表記。 油価はドバイ原油。



(億円)

	05/3中間期			04/3中間期			増減		
	カフジ 関連	石油・ガス 開発/ 生産	石油 精製 販売	カフジ 関連	石油・ガス 開発/ 生産	石油 精製 販売	カフジ 関連	石油・ガス 開発/ 生産	石油 精製 販売
売上高	566	26	1,883	540	21	1,634	26	5	249
営業利益	4	8	57	2	8	32	2	0	25

## 売上/営業利益増減分析:

	増加要因	減少要因
<b>売上高</b>		
カフジ関連 石油・天然ガス開発関連 石油精製販売	油価上昇 新華南石油連結子会社化 単価上昇 数量増加	グループ内売上の増加 AEDC(USA)生産減 電力向け重油の減少
<b>営業利益</b>		
カフジ関連 石油・天然ガス開発関連 石油精製販売	合理化 新華南石油連結子会社化 在庫取出し益 石化製品好市況	TSA事業の伸び悩み AEDC(USA)生産減 電力向け重油の減少

# 営業外損益 / 特別損益の内訳

(百万円)	05/3 中間期	04/3 中間期	増減
営業外収益	1,817	889	928
受取利息	224	168	56
受取配当金	10	344	334
持分法投資利益	809	97	712
為替差益	355	-	355
その他	417	278	139
営業外費用	1,556	1,712	156
支払利息	1,239	1,115	124
為替差損	-	341	341
その他	317	255	62

(百万円)	05/3 中間期	04/3 中間期	増減
特別利益	1,949	-	1,949
投資有価証券売却益	805	-	805
ガス操業権売却益	1,144	-	1,144
特別損失	537	1,335	798
減損損失	91	-	91
固定資産除却損	83	931	848
その他	362	403	41

## < 減損会計の早期適用 >

- ・ 当中間期より固定資産の減損に係る会計基準を採用
- ・ 富士石油の遊休土地を減損処理したが、経営統合時に土地を時価評価しているため、連結決算における影響は91百万円と軽微

# 原油・天然ガス販売量 / 販売価格

(販売量単位) 原油:千バレル/日、天然ガス:百万立方フィート/日  
 (販売価格単位) 原油:\$/バレル、天然ガス:\$/千立方フィート

	販売量			販売価格	
	05/3中間期	04/3中間期	前期比(%)	05/3中間期	04/3中間期
カフジ原油	90.8	93.3	97.3	33.05	25.40
フート原油	7.1	4.9	144.8	35.40	25.74
南海ミディアム原油	3.4	1.1	300.0	32.85	29.34
エコフィスク原油	0.5	0.6	83.3	33.66	28.63
原油計	101.8	99.9	101.9	-	-
天然ガス(米国メキシコ湾)	12.1	15.1	80.1	6.22	6.03

(千KL)

	05/3中間期	04/3中間期	前期比(%)
揮発油	860	818	105.1
ナフサ	126	116	107.9
ジェット	492	477	103.0
灯油	103	75	136.8
軽油	539	622	86.6
A重油	204	166	122.2
C重油	520	630	82.6
ベンゼン	85	65	131.9
キシレン	145	136	106.4
生焚原油	0	49	-
その他	276	272	100.8
小計	3,351	3,432	97.6
ジョイント・バター	861	473	181.9
合計	4,212	3,905	107.8
内、輸出量	216	206	105.1

# 連結貸借対照表の主な増減項目

(億円)

	05/3中間期	04/3期	増減額	増減要因
<b>流動資産</b>	1,621	1,313	308	
現金・預金	192	233	41	
受取手形・売掛金	733	595	138	原油価格上昇による売掛金増
棚卸資産	505	374	131	原油価格上昇/季節的な在庫量増
<b>固定資産</b>	1,427	1,406	21	KGOC貸付見合借入 +48
<b>資産合計</b>	3,048	2,720	328	
<b>流動負債</b>	1,450	1,200	250	原油価格上昇による買掛金+75、短期借入金 +40 未払揮発油税増加 +64
<b>固定負債</b>	873	886	13	KGOC貸付 +48 長借減少 81
<b>負債合計</b>	2,324	2,086	238	
<b>資本合計</b>	714	632	82	中間利益 +66、有価証券評価増 +15
<b>負債・資本合計</b>	3,048	2,720	328	

KGOC (Kuwait Gulf Oil Company) : クウェイトとの技術・サービス契約および融資契約の相手先

(億円)

	05/03 中間期	04/3 中間期	増減	増減要因
営業活動によるCF	10	56	67	利益 +65 売上債権増加 209 棚卸資産増加 86 仕入債務増加 +106
投資活動によるCF	44	62	18	有価証券売却 +17 子会社取得 24 KGOC貸付 +24
財務活動によるCF	13	21	8	短借増加 +54 KGOC貸付見合 24 長借減少 38
現金及び現金同等物に係る為替差額	4	9	14	
現金及び現金同等物の増減	37	5	43	
現金及び現金同等物の期首残高	221	261	40	
連結子会社増加に伴う現金及び現金同等物の増加額	38		38	
現金及び現金同等物の期末残高	222	267	45	

## 事業環境

- ・不透明な中東情勢を背景に原油は高値圏で推移
- ・石油化学製品の好市況継続

## 事業計画

### 上流事業

- ・クウェイトとの技術サ - ビス契約の下でのカフジ事業継続と関連サ - ビス業務の拡大
- ・原油販売計画: 67.0千バレル/日
- ・新規開発案件の開拓

### 見通しの前提

原油価格: ドバイ原油  
\$32.5/bbl

為替レート: 110円/\$

### 下流事業

- ・石油製品販売計画: 4,044千KL
- ・精製コストの削減(単価1,500円台/KLを継続)
- ・サルファーフリー(硫黄分10ppm以下)ガソリン・軽油の出荷開始

(億円)

	05/3期 修正予想(11/25)			05/3期 当初予想(5/27)			増 減		
	上流	下流	計	上流	下流	計	上流	下流	計
売上高	1,130	3,370	4,500	1,175	3,005	4,180	45	365	320
営業利益	28	117	145	28	36	64	0	81	81
経常利益	26	109	135	23	28	51	3	81	84
当期利益	45	75	120	7	27	35	38	48	85

	増加要因	減少要因
売上高		
上流	油価上昇 新華南石油連結子会社化	カフジ原油需要減 AEDC(USA)生産減/ガス権益売却(下期)
下流	単価上昇 数量増加(含電力向け重油)	
経常利益		
上流	新華南石油連結子会社化 合理化	TSA事業の伸び悩み AEDC(USA)生産減/ガス権益売却(下期)
下流	数量増加(含電力向け重油) 在庫取出し益 化成品好市況 タンカー市況好調 合理化	